

【 第26回 世界学生選手権 】

2016年6月27日～7月3日 スペイン / マラガ

試合結果報告 6月29日 (水)

JAPAN	VS	ROMANIA
11	前半	12
11	後半	11
22	合計	23

個人得点

名前	前半	後半	合計
茶園 遙			0
堀川 真奈			0
石井 優花			0
佐々木 春乃	1	5	6
角南 果帆	2		2
大山 真奈	2	2	4
河嶋 英里	1		1
秋山 なつみ	1		1
松本 ひかる	2	3	5
三田 未稀	2		2
岩淵 いくみ			0
板野 陽			0
北原 祐美			0
佐原 奈生子			0
徳永 千紘		1	1
馬場 敦子			0
合計	11	11	22

試合結果

戦評

日本チームのスローオフで開始された試合は、大山のブラインドシュート2連取で幕を開けた。このまま連取したい日本だが、ルーマニアもNo.88のサウスポーから繰り出される力強いロングシュート、カットインで対抗し、一進一退の攻防が続く。中盤に入り、大型選手相手に三田、大山のロングが阻まれ、攻め手を欠いてきた日本は、ルーマニアNo.88のカットインなどで4連取され逆転を許す。20分過ぎ7-9と2点リードされたところで、日本はタイムアウトを請求。タイムをきっかけにリズムを取り戻したい日本だが、相手の高さあるDF、GKにシュートを阻まれ得点することができない。日本にとって苦しい時間が続いたが、途中出場の河嶋の速攻を機に、三田のミドル、角南の速攻などで再び試合を振り出しに戻す。終了間際に、ルーマニアNo.7が退場し、チャンスを得たが、得点に結びつけることができず前半を11-12で終える。後半に入り、ルーマニア退場のチャンスを生かしたい日本だが、逆にルーマニアNo.88のロングで失点をしてしまう。何とかくらいつきたい日本は、佐々木の速攻、ロングで追いつき一進一退の攻防が続く。中盤に入り、日本もGK馬場の好セーブ、松本の速攻、大山のミドルなどで徐々にペースを取り戻し、1点差まで追い上げる。さらに、DFで足が止まってきたルーマニアは退場者を出すが、日本はこのチャンスを生かせず得点することができない。1点ビハインドでむかえた残り1分、7mTのチャンスを獲得が、相手GKにファインセーブ

され、同点に追いつくことができない。同点を狙って、タイムアウトを請求した日本だが、最後の攻撃でも得点をあげる事ができず、22-23で惜しい敗戦となった。

報告記入者 :

横手 健太